

# 中国文学の食卓 一食で探る文化の流動

### 授業概要

「民は食を以って天と為す」—このことばにあるように、なによりも「食」を大切にする中国。その中国の文学作品や映画に描かれた「食」を手がかりとして、その背景に広がる歴史・風土・民族・生活など、中国文化の諸相を多元的に探っていくことを目的とします。授業は「南北の食卓」と「流動する食卓」の2つのセクションから成り立ちます。まず「南北の食卓」では中国の多様な地域性について理解を深めます。次に「流動する食卓」では、文化の流動・受容・変容という視点から食文化を探求し、中国文化の重層性について理解を深めていきます。食文化はある地域や民族などのアイデンティティを支える保守的で伝統的な側面をもっている一方で、同時に外来の要素を自由に取り入れて変化してやまないという開放的な側面ももっています。食文化の流動の軌跡を追うことで、従来の視点では見落とされがちな地域間あるいは民族間の相互関係を浮き彫りし、文化のもつ多元性、重層性について理解を深めるとともに、「文化の乗り物」としてのメディアの役割にも注目していきます。21世紀、中国は国際社会にとって重要な存在となり、隣国に住む私たちの関係も緊密になってきていますが、同時に複雑な問題もはらんでいます。よりよい国際関係を築くためには、その地域の歴史、伝統、言語、文化に関心を持ち、理解を深めていくことが大切です。「食」という身近な題材を手がかりに異文化理解の深化を目指します。

### 到達目標

1. 講義で取り上げる文学作品、映画、関連文献などにできるだけ多く触れ、中国文化に対する関心と理解を深める。
2. 中国を鏡として、自国の文化を見直し、多元的文化理解の視点を持つ。

長井 裕子

メディア・コミュニケーション研究院 特任教授

### 授業計画

- 第1回 ガイダンス
  - ・第1セクション：南北の食卓
- 第2回 南北の食卓—多様な地域性を考える その1  
多様な地域性概観
- 第3回 南北の食卓—多様な地域性を考える その2  
黄土高原の文化と食
- 第4回 南北の食卓—多様な地域性を考える その3  
江南の文学と食
- 第5回 南北の食卓—多様な地域性を考える その4  
江南の文学と美食
- 第6回 第1セクションのまとめとして  
—南北の食卓から流動する食卓へ
  - ・第2セクション：流動する食卓
- 第7回 流動する食卓—食肉文化の変遷 その1
- 第8回 流動する食卓—食肉文化の変遷 その2
- 第9回 流動する食卓—茶をめぐる文化流動 その1
- 第10回 流動する食卓—茶をめぐる文化流動 その2
- 第11回 流動する食卓—茶をめぐる文化流動 その3
- 第12回 流動する食卓—麻婆豆腐のきた道 その1
- 第13回 流動する食卓—麻婆豆腐のきた道 その2
- 第14回 流動する食卓—麻婆豆腐のきた道 その3
- 第15回 まとめと達成度を測るテスト

### 成績評価

平常点（アンケート、クイズ、小レポートなどにより授業参加度を測る）と、期末テストによって評価する。平常点40%、期末テスト60%の比率とする。  
最終的な評価（「A+」から「F」までの11段階）においては、成績に極端な偏りがないよう十分配慮する。